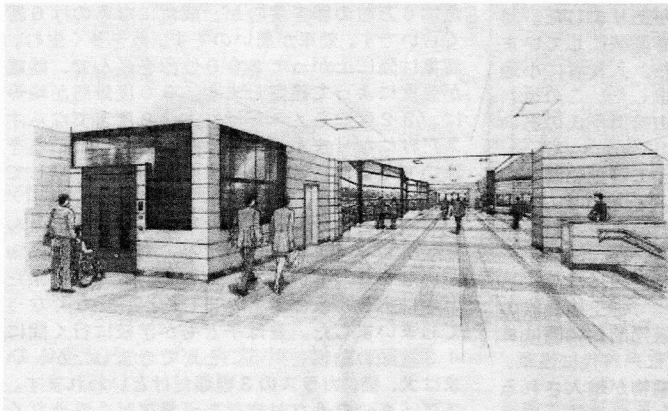




2003年  
3月2日  
第13号

発行 相原まちづくり協議会  
責任者 今村 忠司  
所在地 町田市相原町1241  
電話 042(774)8705



【自由通路内観パース】

## 新駅舎、6月1日から利用できます 5月31日に盛大な竣工フェスタを開催

相原駅舎工事は大詰めを迎えています。今年6月1日から新駅舎が利用できるようになりました。当初計画では、自由通路が8月完成、駅舎全体が15年度中ということでしたが、工事が予定より、順調に進みました。6月以降も撤去工事などは残ります。

このため、市では5月31日(土)に新相原駅の自由通路開通式を行います。また、当日、盛大に駅周辺で地元の各種団体が「相原駅竣工フェスタ」を行います。同フェスタは相原地区連合町会と相原まちづくり協議会が呼びかけ人になって、相原地域の約70団体が一緒に行います。第1回の打ち合わせを2月21日に開き、全会一致で祝い(イベント)を行うことを決定し、相原駅竣工フェスタ実行委員会を立ち上げ、内容、規模などを検討することになりました。詳細が決まりしだい、回覧などでお知らせします。

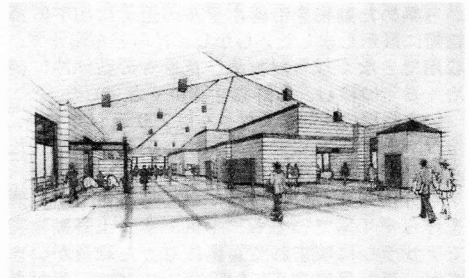
JR相原駅は明治41年(1908年)9月、横浜鉄道会社の開通と同時に相原駅も開設されました。旧の木造平屋建ての駅舎は、昭和9年(1934年)に建てられました。

当初は、駅舎東側の人の利用が主だった駅舎ですが、徐々に西側の利用者が多くなり、また、法政大学・家政学院大学の建設により、多くの学生が相原駅を利用するようになりました。

駅舎の西口が開設されたのは、昭和何年か定かではありませんが、午前6時~10時と午後4時~8時という時間帯しか開いていません。この不自由さを解消するために、18億円を超える建設費を投入して、「相原駅橋上化工事」が平成12年末に起工式が行われ着工されました。

この相原駅の特徴は、何といっても「地元住人の要望」を最大限に取り入れた駅舎であることです。相原まちづくり協議会では、19

98年1月に駅舎利用者を対象にアンケート調査を実施し、それをベースにして駅舎のイメージを町田市へ提出しました。「入母屋風の屋根の形状」・「木質感(丸太風)の外壁」・「昇降機設備」等々。地元住人への説明会や地域代表(連合町会・まちづくり協議会)との話し合いを重ねて建設されました。



【コンコース内観パース】

## 駅前進入道路・駅前広場測量始まる

相原駅竣工に伴い、バスなどの車の駅への進入道路の問題が指摘されてきました。このため、西口に駅前広場5,300㎡のか整備が決定しました。その進入道路「町3・4・47(幅20m)」と八千代銀行から北へ向かう通称南北道路「町3・4・49(幅16m)」の拡幅整備します。市の測量は昨年末から始まり、完了しました。

今後、町田市により買収がおこなわれ、5年後をめどに整備をする計画です。

(計画図は5ページ参照)

## 上野動物園長の「動物おもしろ話」講演

第5回まちづくり講演会が10月20日に堺市民センターで行われました。

最初に「花の町相原推進委員会」主催の花コンクールの表彰式がありました。同コンクールは11地区から24件の推薦がありました。対象は道路から鑑賞できることを基準にしています。4部門9名が入賞しました。入賞者に小池副委員長から表彰状が渡されました。この後、町田地区保護司会堺分区分長の山崎清子氏のあいさつがありました。

講演会は菅谷博・東京都恩賜上野動物園長から「動物おもしろ話」をテーマに行われました。菅谷氏は相原町元橋町に住んでいます。講演内容は以下の通りです。

上野動物園は開園して120周年になりました。動物園の歴史はヨーロッパで、王族貴族の趣味として始められました。近代的動物園はロンドン動物園からです。日本は江戸時代に浅草、両国などでラクダなど珍しい動物が輸入されると見せものとして、置かれました。当時、庶民の娯楽として評判が高かったのです。珍しい動物を1頭1羽、仮設に入れて見せていましたが、そのうちに、年間通して常設するようになりまし。「動物園」という言葉は福沢諭吉が「西洋事情」の中で初めて使いました。

明治時代に入り、パリの万国博に熊などの日本の動物を展示用に出しました。それらの全国から集めた動物を帝国ホテルの近くに山下町博物館に展示しました。しかし、どんどん増えて、収用できなくなったため、寛永寺の敷地内に明治15年に移し、上野動物園ができました。

いま話題の「たま」ちゃんはアザラシですが、オットセイとよく似ています。アザラシは耳たぶがあり、上手に尻尾で泳ぐことができます。70分から90分、潜っていても平気です。群を作らず1尾でいても、平気です。上野動物園でアザラシに咬まれて重傷になった職員がいますが、見た目に違って凶暴で、スピード感があります。

芸を教える時は、最初の一週間、厳しくして、次の一週間、やさしくして、それを繰り返します。「きびしさ」「やさしさ」の繰り返しのバランスが必要です。これは、人間の躰にもにも通じるものです。

日本のトキは1羽しかいません。32歳で、飛べません。佐渡では、中国から入れて、繁殖させ25羽を飼っています。野生に戻すのに、農作物に農薬を使わない、どじょう、たにしがいなければなりません。野犬、野良猫がいないこと、高いところに巣をつくるから、松などの木がなければなりません。農業関係者など島全体

の合意が必要です。市民生活に大きく影響します。100羽になったら、危険分散のため、上野動物園か、多摩動物園に分けなければなりません。もし、佐渡で鳥独自の病気が発生すると全滅の恐れがあるからです。

動物の親子のつながりをお話しします。

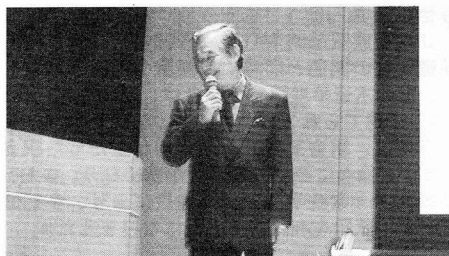
魚は6万粒の卵を産むが、成魚になるのは6匹くらいです。効率が悪いのです。数を多く生む。海亀は陸に上がって200位卵を産んで、雌雄が温度によって確定します。30度雌雄が均等に、32度ならメスだけに、28度までならオスだけになります。オスは暖かい遠いところを泳いでくるからといわれますが、はっきりしていません。

日本はトノサマガエルはいなくなり、ほとんどがダルマガエルになるなど、身近にいた動物がいなくなっています。20年前に相原に来たときにホタル、キジもみましたが、いなくなっていました。昔は子どもが学校に行く間に13種類の動物を見ることができましたが、いまは犬、猫、カラスの3種類だけといわれます。スズメも少なくなりました。黒アリもみえなくなりました。身近な動物が少なくなりました。

## 人間に共通する子育て

鳥の卵は堅い殻があります。抱卵してふ化をして、育成する。早くから親子のコミュニケーションをしています。弱いものはお腹の中で成熟させます。ゴジラは小さいときから一緒にしておくとお交尾しません。ゴジラのペニスは3・5センチと小さい、精液量も少なく、繁殖力が弱いのです。このため、増殖が難しいのです。ジャイアントパンダの妊娠も難しいです。この理由は発情期が年1回で、受精の適正時期が6時間にすぎませ。この間に、交尾しなければなりません。中国のパンダは野生でのものが1000頭切っています。パンダの寿命は24、5歳ですが、生殖能力は20歳くらいまでです。パンダ、コアラは可愛くて、みんな好きです。これは3等身だからです。赤ちゃんと同じです。

子どもを育てるのは3つの原則があります。一つは「しっかりと抱いて」、二つは「下におろして」、三つは「ほっといて」です。順序が逆になったらダメです。人間も同じです。



## 市政懇談会で寺田市長に強く要請

寺田和男市長を招いての市政懇談会が10月10日に堺市民センターで開かれました。相原地区連合町会、相原まちづくり協議会などの代表が出席しました。寺田市長は「相原は町田市の『西の都』と言うこともあり、相原駅の橋上化、中央公園などの建設を推進している。市の財政が悪化していることもご理解いただきたい」と語りました。

市側の主な回答は次の通りです。

### <相原中央公園建設状況>

用地確保は平成7年から13年までの間に、8100平方メートルの土地を買収、買収率57%、平成14年度計画通り買収できると、8900平方メートルとなり、買収率63%です。今後3年間で買収を完了します。工事は13年度排水工事のためのボーリング土質調査、測量調査を行いました。14年～15年度の一部多目的広場、テニスコート、壁打ちテニスの整備工事として取りかかります。公園トイレは15年に設置を考えています。

### <相原駅周辺の区画整理>

駅西側に入る進入路は、都市計画道路整備事業として測量を行っています。5年間で事業を終わらせませす。都市計画道路として49号線(16メートル幅、歩道両側各3、4メートル、車道9メートル、これは路側帯を含め4、5メートルの2車線)、47号線(20メートル幅、歩道両側各4、5メートル、車道11メートル)です。まず、駅舎の完成、都市計画道路、駅前広場を完成させ、平行して東口の区画整理の話し合いをしていきたい。駅前のバス、タクシー、個人の送り迎えの車のスペースはこれから考えていきます。駅舎の屋根の色はグレーシユグリーン、少しグリーンの入った色で、真っ黒ではありません。

### <町田街道拡幅について>

町田街道は都道であり、施工は東京都になります。市としては平成17年着工完了を都にお願いしています。都は区画整理ありきの中でなければ解決できないという考えを持っています。側道、川などとの問題があるためです。市としては都に第1番目の要望として市長が直接、副知事をお願いしています。

### <境川河川改修工事促進について>

相模原管内は国道16号線坂下の両国橋から下流1100メートルが整備され、残り800メートルが平成14年から17年度で、両国橋の架け替えと合わせて施工していく予定です。両国橋の下流横町橋までの用地買収が始まっており、14年から16年までかかり、17年から工事を始めて、19年に工事完了と聞いています。

津久井土木管内は13年度に新境橋の先、下

馬橋までの間5400メートルの工事計画が煮詰められ、16年工事着工の予定です。境川河川改修工事が遅れているので、市としては相模原市、津久井町の両土木事務所関係者に促進を要請しています。

### <乗馬クラブの建設について>

(陽田地区にNPO森林クラブが乗馬クラブの建設のため、昨年末から工事に入っています。台風の時などの市道への水があふれる場合が心配されます)

非営利事業であるNPO森林クラブが高ヶ坂から相原に移転するという事です。雨水がもれる件は承知しています。業者に強く言っているが、なかなか聞いてくれないのが現状です。これからも指示していきます。

## 福島県三春町のまちづくりを視察

相原まちづくり協議会は9月8日、9日に福島県三春町のまちづくりを視察しました。一行は今村理事長ら20人が参加しました。8日は阿武隈洞、安達ヶ原ふるさと村を視察、9日に三春町を視察しました。三春町では町役場の会議室で、町の担当者から説明を受けた後、市街地を視察しました。

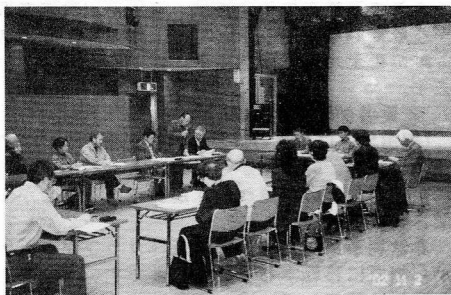
三春町は、歴史と文化に根ざした「三春らしさ」を大切にしながら「新しい田園都市型の地域開発」「町民参加のまちづくり」を進めています。

美しいまちづくりは建物の建て替えや道路整備によって、商店街だけでなく、住宅地でも実施されています。

三春町は住民参加による地域住宅計画をもとに、魅力ある町並み、個性ある住宅に取り組んでいます。「美しい三春をつくる景観条例」を作り、外路樹や生垣などを規制しています。また、「町並み環境整備事業」では、外構の条件として①生垣とするか、土塀・板塀・竹塀とする。法面は石垣か、植栽などで潤いを高める②車庫や自動車置き場は目立たない位置に設置③屋根は2方向以上の勾配屋根④色は無彩色系茶系で、彩度を抑えた落ち着いたものになっています。街路、公園、住宅などを整備、商店街の再編、文化福祉施設の集中化しています。電線を地下に埋没させる電線類の地中埋設化事業も実施しています。

もう一つは、三春ダム「さくら湖」の完成に合わせ、「三春の里農業公園・田園生活館」を拠点とした地域開発です。田園生活館は宿泊施設、食堂、売店、加工所からなっています。売店は直売コーナーの「かご市」、自然食品の店、土産品地場産品の販売を行っています。加工所では、豆腐揚げ、うどんパン製造、一般農産加工などです。三春の里農業公園では、農園、水車小屋、炭焼小屋、研修館があります。

## 活発論議した相原市民講座



町田市民館活動の一つとして「相原地域市民講座」が昨年11月に堺市民センターで開かれました。同講座は、相原町の活性化をどうするか、相原地域市民講座運営委員会（今村忠司代表）の主催で、「しょく」をテーマに5回にわたって行われました。毎回20名から30名の参加がありました。

第一回「食のまちづくり」（11月2日）

講演者：北島一夫・町田あいす工房ラッテ代表  
中村豊・中村養豚代表

第二回「植のまちづくり」（11月6日）

内野秀重・前NHK文化センター講師

第三回「触のまちづくり」（11月16日）

横山隆治・前日大教授

第四回「飾のまちづくり」（11月22日）

保坂健次・城山ホテル研究会会長

第五回「まとめ」（11月29日）

講座での主な意見は次のようです。

①相原は戦前から畜産の伝統があり、現在も、養豚で全国的に有名な「東京X」種を飼育している中村豊さん、アイスクリームや牛乳を製造・販売している北島一夫さんは、テレビなどで紹介される有名です。相原の名産です。相原の特徴を生かした生産物（野菜、菓子）を地産地消ですすめ、若い人が楽しめる喫茶店、ラッテの牛乳、東京Xの豚カツの店などで街づくりをしようか。

②相原周辺には、八王子みなみ野や相原小山ニュータウンがあり、多くの自然が失われています。自然が多く残る相原では、みどりを残しながら、特徴ある「まちづくり」を考え実践する必要があります。里山をアピールしたウォーキングマップの発行、屋根のない博物館、谷戸田博物館の設立が急務です。また、境川の源流を生かした街にする一方、「JAO会」などで進めている竹炭作りや椎茸栽培の活動の輪を広げようか。

③相原は学生の若い人が多くいます。文化もあります。大学の交流を大切にして、音楽など発表する場をつくってはどうか。また、法政大学

でラクビーで優勝したら、商店街に「垂れ幕」などを出すのも一つではないか。

④城山町では「ほたるの会」「むささびを見る会」「日の出を見る会」があります。「ほたるの会」では昨年1万3千人が参加しました。相原でも自然を生かしたイベントを行ってはどうか。

## 相原中央公園いよいよ着工へ

相原中央公園建設促進委員会は、1月は都合で24日（奇数月20日）新年会を兼ね開催しました。その席上、町田市の公園緑地課の平本課長は、今年中頃より多目的広場（サッカー・野球場）の工事を始めることを明らかにしました。当初の工事は雨水の処理（排水工事）、山を崩したり土工事が主となります。発生土は一時、現グラウンド部分に仮置きしますので使用出来なくなります。同課の年間予算の大半をこの工事に注ぐ模様です。

また、現在使用中の便所も多人数の使用に耐えられないことから、今回の工事対象になりました。引き続きテニスコートや管理棟、公園施設も作られる予定です。

## 3月29日に相原中央公園で花見の会

2年前、同公園の「さくらの丘」に植樹が行われました。苗木も育ち、さくらの花が咲くのも時間の問題です。相原中央公園建設促進委員会（委員長：北島一夫氏）が中心となって、3月29日（土）に「花見の会」を行います。今年は、同委員会の他スポーツ団体の関係者による催しになりますが、一般の方々はこの日に限らず、手料理持参でご自由にご参加ください。同委員会では、「ござ」を用意する予定です。来年からは、もう少し輪を広げ、相原全体の「さくらまつり」へと発展させていく計画です。

## 2階建ての堺中体育館・プール建設へ

現在の堺中の体育館は、老朽化が進み雨漏りで使用に支障を来しています。町田市では18年度の完成を目標に体育館・プール併設で建設する計画で準備が進められています。プールは市民開放型を目指していることから規模は現在のものより大幅に拡大します。このため、用地の確保が必要です。建物は1階にプール、2階に体育館になるよう堺中体育館・プール建設促進協議会では希望し、地元の議員さんにも働きかけ早期実現を目指しています。

## 【相原駅西側広場と進入道路計画図】



## CATVケーブル今夏小学校まで延長

平成14年11月に坂下町会で、小田急ケーブルビジョンによるCATVの説明会が行われました。

CATVのケーブルは、現在国道16号線手前まで引かれています。国道・八王子バイパスやJRを越えることが困難でした。しかし、平成15年の夏までに相原小学校までケーブルを延長するという説明でした。一方では、平成15年の暮れになるという情報もありました。

相原地域は、橋本方面の高層建築物の反射波（ゴースト）の影響や、平塚局（UHF）からの電波の遮蔽障害や、多摩境地域の高層マンションの工事用クレーンの影響を受け、テレビがまともに見られない状態が続いています。（境町会では80%位の世帯がCATV化され、他の町会の一部では共同アンテナで対応されています）

相原駅舎建設に伴い、陽陽町会周辺の一部の地域に平塚局（UHF）からの電波の遮蔽障害が起きていますが、これについては共同アンテナで対応することが既に決まっています。

テレビの映りの悪い相原地域では、早くCATVのケーブルが引かれる事が望まれています。しかし、CATV化するには費用も掛かります。小田急ケーブルビジョンの場合では、加入料25,000円と標準工事費23,000円（1配線の場合）及び毎月の利用料金3,300円（多チャンネルテレビ1台）と費用が掛かります。（加入者がまともれば費用も安く出来るという説明でした）

東京では平成15年末から、BS地上デジタル放送が開始される予定になっています。デジタル放送は、高画質・高音質・多機能で、

雑音や反射電波（ゴースト障害）に強い事が売りになっています。これは、デジタル放送の変調方式であるDFDM変調方式と、ガードインターバルと呼ばれる技術により、遅延電波を削除することが出来るからです。しかし、BSデジタル放送を受信するには、UHF対応のアンテナと地上デジタル用の専用チューナーが必要です。また、受信レベルの低い地域でどの程度の映りになるかは、設置してみないと何とも言えません。

小田急ケーブルビジョンは、このBS地上デジタル放送にどう対応するか未定との回答でした。

現在のアナログ放送は、2011年に終了の予定ですので、いずれにしてもどちらかを選択するようになります。

## 傘 ありがとう

相原駅に「かえる傘」を設置して以来、早いもので3年が経過しました。多くの方々のご協力により継続されています。「こころ豊かなまちづくり」の一環として今後も続けてゆきたいと考えております。紙面にてお礼申し上げます。

## 引き続き傘 募集中！

相原まちづくり相談所（元いなげや駐車場横）で受付をしています。ご不要の傘がございましたらご寄贈ください。

毎週火・水・木曜日



「多摩丘陵フットパスまつり」開催  
里山ウォークに参加しませんか！

「多摩丘陵フットパスまつり」が3コースに分かれて行われます。フットパスとは、広域の散歩道ネットワークのことです。多摩丘陵には散歩に快適な道がたくさんあります。

これをつないで、鶴川、相原、津久井、3地域の団体が連携して企画し、日本財団・法政大学現代福祉学部・町田市公園緑地課・津久井町産業経済課の後援と協力により開催されます。

- A. コース 小野路「春の花と小野路城址を歩く」  
NPOみどりのゆび 企画  
3月30日(日)実施 締切3月17日
- B. コース 相原「若葉の大戸・小松城跡を歩く」  
NPO夢連 企画  
4月27日(日)実施 締切4月14日
- C. コース 津久井「新緑と津久井城址の歴史を歩く」  
津久井町観光協会 企画  
5月18日(日)実施 締切 5月6日

詳細は3月1日発行の町田市広報「まちだ」4ページに記載ご参照ください。  
なお3コースそれぞれ会費1000円(食事代・資料代・保険料込み)定員100名で実施します。

参考に4月27日の相原のNPO夢連企画の行程を記します  
園林寺(10:00)―山王社―法政大学構内―大戸観音堂―大地沢青少年センター(昼食)―境川源流―草戸山―城山湖ダム―金刀毘羅宮―小松城跡―園林寺(16:00解散6時間行程)

**Bコース 申し込み**

NPO夢連事務局  
往復はがき 相原町792-5 相原郵便局内  
FAX 772-9070  
eメール tomoken@ops.dti.ne.jp

今、相原町にはNPO法人が高齢者福祉サービス「相原やまゆり会」、中央公園や周辺の緑の保全の「相原さとやまの会」、エコミュージアムや歴史保存の「夢連」の3団体が活動しています。

4月19日に子どもセンターの集会開きます  
相原に子どもセンターができます

待望のこどもセンターが相原にまもなく具体化します。寺田町市長も鶴川の次は相原町と明言しております。いよいよ相原らしい子供の城作りが始まります。

相原こどもセンター誘致委員会では、この2年間毎月19日に定例委員会を開き、場所の問題や内容の問題について討議してきました。相原の11の子供会や中学を巡回し、みなさんとともに、話し合いを行ってきました。

いよいよ具体的にな若い力と知恵を結集し、どんな施設が、どんな形が、何がしたいか、何があれば楽しいかを検討します。赤ん坊から高校生までが活用するための、相原らしいセンター作りをします。このため、下記のように集会を開きます。

お父さん、お母さん 大学生、高校生どなたでも、集まってください。話し合い行動してみませんか。

日時：4月19日(土) 13:30～  
16:30

場所：中相原会館

問い合わせ先 772-0040 島崎  
774-5112 佐々木

編集後記

例年より厳しい寒さを感じた年明けからの毎日でしたが、陽だまりも柔らかくなり、相原駅のグレイッシュ・グリーンの大屋根も目立ってきました。

「あいとびあ」も13号を数え、相原の人々からも発行を督促されるまでになりました。

駅周辺の南北道路、中央公園、子どもセンター、市民プール、そして区画整理、記事の種は尽きません。相原幼稚園の園庭のちびっ子たちが砂場ではしゃいでいるのを眺めていると相原の未来はこれからだと「まちづくり協議会」も希望いっぱい活躍の場があると思います。みなさまの協力で住み易い町を作りたくよろしく願います。

(今、島、横、須、友、土)

「あいとびあ」は夢連ホームページでもご覧になれます。

Yahoo!で「夢連」で検索できます。

あいとびあに地域の活動を紹介したいと考えています。どなたでも原稿をお寄せ下さい。

今村宛 FAX(771)5654